

【実施範囲】
福島県、宮城県、茨城県、
栃木県、群馬県の全域及び
岩手県、千葉県等の一部

【測定地点】
602地点

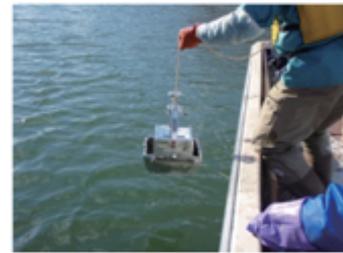
【核種分析】
<試料>
水質、底質、
周辺環境（土壌）

<対象核種>
放射性セシウム
放射性ストロンチウム
(一部水質、底質)等

【頻度】
汚染状況等に応じて、
年に2～10回の頻度で調査。



(河川・水質)



(湖沼・底質)

環境省2018年度公共用水域放射性物質モニタリング調査結果(まとめ)
(http://www.env.go.jp/jishin/monitoring/results_r-pw-h30.html) より作成

福島県を中心に、宮城県、茨城県等、放射性物質による汚染の懸念がある地域の河川、湖沼等において、モニタリングが実施されました。

2018年度は、602地点でモニタリングが実施されており、水等に含まれる放射性セシウム、ストロンチウムの分析が行われました。

水質の放射性セシウム濃度の調査結果は以下のとおりです。なお、底質（河川、湖沼等の底の泥）の調査結果は、下巻P36「水環境放射性物質モニタリング調査（河川底質）」～下巻P38「水環境放射性物質モニタリング調査（沿岸域底質）」に掲載しています。

【水質の放射性セシウム濃度の調査結果】

河川（2013試料） 全て不検出

湖沼・水源地（1389試料） 福島県浜通りの21試料（6地点）で検出された以外、
全て不検出

沿岸（534試料） 全て不検出

※検出された地点では、いずれも浮遊物質（SS）や濁度が比較的高い状況

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2020年3月31日